仙台育英学園報

仙台育英学園報 第 20 号 WEB 版

発行 / 令和 3 年 7 月 29 日 学校法人 仙台育英学園 〒 983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 4-1 Tel. 022-256-4141

URL https://www.sendaiikuei.ed.jp



アイ・チャレンジ 125



(2021 年版) 復興バージョン完結編

学校法人仙台育英学園 理事長加藤雄彦

東日本大震災から10年となった2021年、コロナ禍で開催そのものが危ぶまれた東京オリンピック・パラリンピック2020が開催されました。今大会のメインテーマである復興五輪は世界を震撼させている新型コロナウイルス感染拡大下にあって、人類がこの疫病と闘い、勝利するための象徴と置き換えられてしまったように思えます。開催そのものに疑問を抱く人々、延期を含む人数制限や無観客試合ならと開催条件を思考する意見等々、国民の心を一つにするビッグチャンスが意識の分断を増長するスポーツイベントになってしまったことに心が痛みます。

新型コロナウイルスのパンデミックのみならず、地球温暖化による気候変動がもたらす大規模災害の発生、2011年の東京電力福島第一原子力発電所の事故は、政策決定者、企業経営者、ジャーナリスト等多くの人々が以前から予見していたタイプのリスクです。

調査会社ペントランド・アナリティックスが執筆した米保険仲介 大手エーオンの報告書は、こうしたリスクを「グレースワン(灰色 の白鳥)」と呼び、いつ到来するか不明だが、起きうることを予見 しておかなければならないと結んでいます。

同様に、クリントン大統領の政権下でゴア副大統領の国家安全保障問題担当補佐官を務めたレオン・フォース氏は、2012年に執筆した「予測的統治」と題する報告書の中で、「米国が共和国として機能し続け、繁栄し続けるためには米政府はいつまでも危機管理に頼っていてはならない。その危機管理がどれほど巧みに行われたとしても。危機が起きる前に対処することが必須である。さもなければ我々はリスクに振り回されることになる。(中略)この国の19世紀に作られた統治機構は21世紀の問題が持つ特性に対応できていない」と警告しています。

アイ・チャレンジ 125

これらから見えてくる危機として最も予測されるのは、「デジタルインフラへの攻撃」ではないでしょうか。歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は「新型コロナウイルス感染者が数百万人に上るのに数ヶ月かかったが、デジタルインフラは1日で崩壊するかもしれない。」と警告しています。コロナ禍で学校や企業はじめ多くの人々はオンラインへの移行を進めたにもかかわらず、ネットワークは幸いにも壊れませんでした。しかしながら、ITの活用でサイバー攻撃に対する脆弱さが露呈されたことにより、科学と技術の限界が浮き彫りにされたのではないでしょうか。

加えて、コロナ禍により世界で鮮明になっているのが「格差と不平等が常態化する中で富を再配分する機能が弱体化した社会構造」がもたらす危機ではないでしょうか。米国人記者ウィリアム・シャイラーは第2次世界大戦が迫る2年前の日記に「ナチスが欧州を支配しかねないと実業家らに警告しても信じてもらえず、笑い者にされるだけだった」と書き残しています。1930年代前半のドイツとフランスでは国民所得全体の4割を所得上位1割の人が占め、広がる格差と募る不満が隣国との摩擦を生み、ゆとりがなくなった人々から公共心や他者への寛容さが失われ、異質のものを安易に排除する風潮が、当時は社会的現象として蔓延していました。

コロナ禍により2020年の1人あたりのGDPは世界の85%の国で前年よりも減少しましたが、これは1929年に発生した米国発の大恐慌後の比率を上回る数字です。しかしながら、人々が皆等しく貧しくなったわけではありません。新型コロナウイルス対策として、各国は経済の底割れを防ぐために破格の財政出動と金融緩和を行った結果、投機的なマーケットを含めた市場に大量のマネーが流入し、空前の株高とも相まって金融資産を持つ者と持たざる者との格差を拡大する結果となりました。

この経済的現象に加えて、世界中で起きている民主主義の退行と 人種差別という病巣の顕著化、そして宗教間対立は、第2次世界大 戦前夜と現状が酷似しており、正に予見される危機と言えるのでは ないでしょうか。

日本国内に目を転じれば、日本列島で多発する地震や噴火は地殻変動の活性期に我々がいることを明示しています。10年前の東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城野校舎は学園を支えて下さる皆様のご支援のおかげで、この春全ての復興事業を終えることができました。「幸運・健康・長寿」を意味する8本の欅と「謙譲・愛嬌・申し分のない美しさ」を花言葉とする寒椿を宮城野校舎の復興のシンボルとして植樹できた際には、創立者加藤利吉先生が作詞された校歌の1番から3番までの結びに出てくる「我が学び舎に栄光(さかえ)あれ」が自然に心の中から湧き出てくる思いでした。震災復興中、皆様には経済的なご支援を含めて数々のご厚情を賜りましたことに感謝申し上げると共に、私学仙台育英学園に学ぶ生徒たちに今後ともご支援頂けるよう心よりお願い申し上げます。

■ 学校法人 仙台育英学園の現状 ■

1 令和 3 年度 在籍生徒数 (2021.5.1 現在)

(1) 仙台育英学園高等学校

全 日 制	1 学 年	2 学 年	3 学 年	合 計
特別進学	277	289	330	896
外国語	79	95	71	245
英進進学	264	274	257	795
情報科学	121	120	75	316
フレックス	193	214	191	598
技能開発	188	152	153	493
秀光コース	8	13	16	37
合 計	1,130	1,157	1,093	3,380

通信制	令和3年度生	令和2年度生	令和元年度生	H30年度以前生	合計
宮城•青森•沖縄	135	215	164	131	645

*令和3年度は前期生のみ

(2) 秀光中学校

1学年	2 学 年	3学年	合 計
27	25	33	85

2 令和 2 年度 決算状況

新型コロナウイルス感染症緊急事態措置、まん延防止等重点措置が実施される中、令和2年度の決算も無事終了しました。収支概要は下記の表のとおりです。

令和2年度は、東日本大震災復興事業として宮城野校舎北側の擁壁工事や 復興館の建築、ILC沖縄校の学校用地購入及び新校舎設計業務、多賀城校 舎トイレ床の乾式化改修や事務局・電算室の改修のほか、コロナ禍対応で学 園寮の各個室にシャワー及びトイレを設置し、居室の改修を行いました。

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う登校時間の繰り下げや、臨時休業措置、オンラインによる在宅授業、分散登校などの対策を実施し、学習面への影響を最小限に抑えるためICTの活用等により感染状況に応じた対策を最優先として実施し、通信制課程の併修授業を活用するなど多方面からの取り組みにより、生徒の学習機会の確保を図っております。

今年度は、令和4年3月完成予定のILC沖縄校新校舎建設、真勝園グラウンド安全対策関連工事、施設設備の経年劣化が見られる多賀城校舎の改装・修繕等を予定しており、教育環境の更なる整備充実を推進し、財政基盤を強化しながら引き続き職員一丸となって学園運営を推進してまいりますので、皆様方には引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■令和2年度事業活動収支状況

【単位:千円】

		科 目	決 算 額	摘要
		学生生徒等納付金	2,456,772	
		手数料	47,681	
	収	寄付金	45,093	
	入	経常費補助金	1,005,675	
	の	国庫補助金	12,274	
教	部	地方公共団体補助金	993,401	
育		付随事業収入	129,375	
活動		雑収入	241,615	
収し		教育活動収入 計	3,926,211	
支		科 目	決 算 額	摘要
	支出の	人件費	1,966,716	
		教育研究経費	1,876,587	減価償却額 556,018 含む
		管理経費	228,586	減価償却額 13,154 含む
	部	徴収不能額	535	
		教育活動支出 計	4,072,423	
教育活動収支差額		△ 146,212		
教育活動外収支差額		△ 56,275		
特別 収支差額		45,737		
基本金組入前当年度収支差額		△ 156,750		
基本金組入額		△ 645,274		
当 年 度 収 支 差 額			△ 802,024	

学校法人 仙台育英学園の現状

■令和2年度貸借対照表

【単位:千円】

	【单位・十门】		
資 産 の 部			
科目	金額		
固定資産	20,662,834		
流動資産	674,270		
資産の部 合計	21,337,104		
負 債 の 部			
科 目	金額		
固定負債	5,392,450		
流動負債	1,054,830		
負債の部合計	6,447,280		
純 資 産 の 部			
科 目	金額		
基本金	27,757,535		
繰越収支差額	△ 12,867,711		
純資産の部計	14,889,824		
負債及び 純資産の部 合計	21,337,104		



2021年(令和3年)4月1日、輝かしい歴史をもつ私立中学校が、新 たな歴史を刻み始めました。新生・秀光中学校の誕生です。

1 仙台育英学園の誕生

学校法人仙台育英学園は、1905年(明 治38年)10月1日、創立者加藤利吉先生 が当時の仙台市東四番丁に私塾「育英会」を 開き、英語・数学、更には国語・漢文・地理・ 歴史などを、次代を担う若者たちに教授した ことに始まります。加藤利吉先生は「至誠」「質 実剛健」「自治進取」を建学の精神として掲げ、 1922年(大正11年)には仙台育英中学 校を創立させました。



創立者・加藤利吉先生の胸像

しかし、太平洋戦争終結直前の1945年(昭和20年)7月9日には仙 台空襲によって校舎を焼失してしまいます。さらに戦後にはGHQにより校 地を接収されてしまいます。しかし、加藤利吉先生はこれらの苦難を乗り越え、 1946年(昭和21年)4月には現在の宮城野の地に新校地を獲得し、 1949年(昭和24年)3月、新校舎を完成させ、現在の学園の基礎を築 きました。

仙台育英学園の建学の精神は加藤利吉先生から加藤昭先生に引き継がれ、 1992年(平成4年)には多賀城校舎が完成し、1996年(平成8年) には多賀城校舎内に秀光中学校が開校しました。



さらに、1996年(平成8年)に 校長に就任した加藤雄彦先生は、加藤 利吉先生の理念を一層充実・発展させ、 文武両道の仙台育英学園の名を全国に 知らしめるとともに、世界各地の学校 や教育関係施設等との連携を深め、世 界でグローバルな活躍ができる生徒を 育成する学園へと成長させてきました。

2 秀光中学校・高等学校秀光コースの誕生

秀光中学校と高等学校秀光コースは、いずれも今回初めて仙台育英学園に 設置されたものではありません。

まず、秀光中学校は1995年(平成7年)12月に設立を認可され、翌年4月に多賀城校舎内に開校して第1期生が入学しています。この年、第1回秀光祭、スノースクール(裏磐梯)を実施しています。また、翌年には秀光中初の国際交流として秀光中卓球部がスウェーデンを訪問するなど、今も実施している行事の中には第1期生のときに始まったものもあります。

1998年(平成10年)7月には、今や毎年恒例の行事となっているジョイントコンサートの第1回目が多賀城文化センターでニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルとの演奏会として実施され、秀光中学校生徒は鑑賞する形で参加しています。9月には秀光中学校3学年がユーロスクールとしてヨーロッパ各国での海外研修に出かけています。宮城県中学校英語暗唱弁論大会で最優秀賞を受賞したのもこの年です。

そして、開校から3年後の1999年(平成11年)3月、第1回卒業証書授与式が行われました。同年4月には高等学校に秀光コースが新設され、秀光中学校入学からの6ヵ年の中高一貫教育によって優れた人材を育成する体制を整えました。この年の6月には秀光コース1学年がアメリカ合衆国に短期留学、翌年7月には秀光中学校がグリーンスクールを裏磐梯で実施しています。

このように、秀光中学校・高等学校秀光コースは、設立初期の段階から現在も継続・実施している行事が設定され、また、文化面・スポーツ面でも国際交流や全国的な大会での優勝などのすばらしい成果を挙げてきました。

3 秀光中等教育学校の誕生

2002年(平成14年)9月、秀光中学校を前期課程、高等学校秀光コースを後期課程とし、6ヵ年の中高一貫教育を実施する学校として、秀光中等教育学校の設立が正式に認可され、翌年4月に東北地区私学初の中等教育学校として開校しました。そして翌年、第1回卒業証書授与式を挙行しています。その後、文化的行事や奉仕的活動、海外研修、国際交流、またインターハイでの卓球女子の優勝を始め、全国規模の大会で輝かしい結果を残すなど、秀光中等教育学校として多方面にわたる一体感のある教育活動を通して優れた成果を残してきました。

4 宮城野校舎への移転

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、宮城野校舎は修復が困難となる甚大な被害を受けてしまいました。そのため、学園全体の教育活動はかなりの制限を受けることとなり、様々な対応に迫られる事態となりました。多賀城校舎での暫定的な授業や山形蔵王温泉での疎開学習など、進路選択を目前に控えた学年の学習を充実させることを優先しながら、学園全体で学習指導に力を注ぎました。そんな状況でも諸行事や課外

活動にも引き続き力を入れたことで、秀光の生徒たちの中から国際物理オリンピックで金メダルを獲得した生徒や、アジア野球選手権大会の日本選抜チームに選ばれた生徒が誕生したことは、文化面・運動面での秀光中等教育学校の底力を示したものだと思います。





校舎の被害状況の確認

宮城野校舎の解体

一方、宮城野校舎の解体と建て替え工事が急ピッチで進められ、2013年(平成25年)3月、待ちに待った宮城野新校舎が竣工しました。4月には秀光中等教育学校6学年の授業が宮城野新校舎で始まりました。そして、2014年(平成26年)7月、学則の変更申請が認可され、秀光中等教育学校は新年度から宮城野校舎に完全移転することが決まりました。この年、前期課程の軟式野球部が第36回全国中学校軟式野球大会で初優勝しています。

そして秀光中学校開設から20周年となる2015年(平成27年)4月、 秀光中等教育学校全学年が宮城野校舎での学習を開始しました。移転した後 も、グリーンスクールやスポーツチャレンジ、秀光祭・合唱コンクールなど の学校行事、京都やILHA(ハワイ)での研修、なぎなたや軟式野球部の 全国大会出場などの様々な場面で数多くの生徒がすばらしい活躍をしてきま した。



新しくなった宮城野校舎

5 IB・MYP認定と、新生・秀光コース誕生

仙台育英学園高等学校では、2013年(平成25年)夏から国際バカロレア I B・D P(Diploma Programme)の導入が検討され、2015年(平成27年)、東北初の国際バカロレア I B・D P 認定校となりました。そして秀光中等教育学校でも、指導者研修、指導体制や指導計画の整備などを進めた結果、2018年(平成30年)3月に秀光中等教育学校が東北初の国際バカロレア I B・M Y P(Middle Years Programme)認定校となりました。





IB Middle Years Programme



IB Diploma Programme

そこで、秀光中等教育学校後期課程を分離して高等学校秀光コースとすることで、すでに I B・D P の認定を受けている高等学校と合わせて、秀光中学校のM Y P から秀光コースのD P への一貫した指導を実施できるようになることから、2018年(平成30年)4月、高等学校秀光コースが誕生しました。これにより、外国語コースでは文系D P だけでしたが、秀光コースでは文系D P にも理系D P にも対応できるようになりました。この年の4月5日には秀光コース入学式を挙行しました。

6 IB・MYP認定と、新生・秀光コース誕生

秀光コースの誕生により秀光中等教育学校は前期課程だけとなりましたが、2020年(令和2年)秀光中学校の開設認可を受け、2021年(令和3年)4月、新生・秀光中学校が正式に誕生しました。

形の上では、秀光中等教育学校の前期課程は秀光中学校に、後期課程は秀光コースに分離しましたが、中学校入学から高等学校卒業までの中高一貫教育は併設型という形で継続しており、6力年を通じて優れた人材を育てようとする理念は変わっていません。生徒たちはこれまでと同様に同じ校舎で学び先輩後輩のつながりは残っています。指導する教員も同じ執務室で連携して指導にあたり、MYPからDPに、そして卒業後の進路に繋がる充実した教育に努めています。







新生・秀光中学校の校旗伝達

7 秀光中学校の教育と今後の方向性

秀光中学校・高等学校秀光コースでは、中学校入学後すぐに一人一人に自分専用のノートパソコンを持たせ、情報リテラシーの指導を始め、各教科での探究学習やレポート作成に活用しています。そのため、新型コロナウィルス感染拡大防止のために実施したオンラインによる学習にもすぐに対応し、学習進度を遅らせることなく授業ができる体制が整っています。

また、1学級あたりの生徒数が少なく、一人一人の特性に合った指導がきめ 細かくできることも秀光の教育の特徴のひとつです。放課後の学習会も設定し、学習面の基礎・基本の充実を図っています。

秀光中学校では、通常の中学校教育を実施することはもちろん、秀光の教育活動の土台となるグランドデザインを基にして、その上にMYP関連の指導と評価の充実を図り、秀光コースでのIB・DPに取り組むことができる力を身



宮城野校舎校門にある秀光中学校のプレート

に付けさせることを目指しています。 また、ICT教育の更なる推進、ネ イティブ教員による英語教育の推進 などにも力を入れています。

秀光では、中高一貫の6カ年の指導を通じて、生徒が努力すれば成果となって表れる指導を継続していきたいと考えています。



宮城野校舎



新生・秀光中学校第1回入学式の集合写真



新生・秀光中学校の制服

本学園の新型コロナウイルス 感染症対策の取組について



昨年(2020年)1月より発生した新型コロナウイルス感染症は、今年度に入っても感染状況が好転しない中、宮城県独自の緊急事態宣言や国の「まん延防止等重点措置」が宮城県に発令された。そのことを受けて、入学式を延期せざるを得ない事態にもなった。

このような状態においても、本学園は一人ひとりの生徒の成長を願いながら、校長を中心に全学園教職員が一丸となって取り組んできた。以下、その取組について紹介する。

1 「新しい生活様式」を踏まえた予防対策の徹底

文部科学省が示した『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル~「学校の新しい生活様式」~』を踏まえ、「感染源を断つ」「感染経路を断つ」「集団感染リスクへの対応」を徹底している。

「感染源を断つ」については、登校時、生徒たちの検温及び健康観察等を教職員が毎日行い、健康状態の把握に努めている。また、保護者の理解と協力を得ながら、発熱等風邪の症状がある場合は自宅での休養をお願いしている。

「感染経路を断つ」については、校舎の各所に手指消毒液ボトルを設置するとともに、手洗い、うがい、消毒などの徹底を呼び掛けている。



校門前での検温【宮城野校舎】



食堂での CO2 センサー活用

本学園の新型コロナウイルス感染症対策の取組について

「集団感染リスクへの対応」については「密閉・密集・密接」のそれぞれに対策の視点を持って取り組んでいる。「密閉の回避」のために換気の徹底、扇風機の活用を行い、エアコン使用時においても換気を徹底している。「密集の回避」のためには、分散登校とオンライン授業の推進を行い、集団的行事についてもオンラインでの実施やオンラインとの併用を図って密集を避けるようにした。

「密接の場面への対応」については、マスク着用を徹底するとともに、アクリル板を数多くそろえて面談等で活用し、教職員は多くの会議をオンライン会議に切り替えて対応している。なお、体育の授業では、熱中症への対応優先を意識し、また、各教科の授業、部活動、食事の際にも活動場面ごとに具体的な予防対策を講じるなど、場面を考慮しながら現実に沿った取組も進めている。





オンラインでの授業

アクリル版を活用【スピーチコンテスト】

2 感染者、濃厚接触者等が発生した場合の対策

感染者、濃厚接触者等が発生した場合は、速やかに校舎内の消毒を徹底して行っている。また、体調不良者が出た場合にも情報を共有し、次の対応に備えている。

3 やむを得ず登校できない生徒への対策

本学園は以前から授業のオンライン化などの取組を推進していたが、この取組が新型コロナ禍の状況で、対策として有為な取組となった。新型コロナ発生の時期からオンライン授業を更に充実することで、やむを得ず登校できない生徒への授業提供手段として十分な成果を上げ、オンライン授業実施後の生徒・保護者アンケートにおいても概ね満足するとの回答を得ている。

4 その他の本学園独自の対策

(1) ワクチン接種に向けた積極的推進

コロナウイルス感染症対策として期待されるワクチン接種については、教職員のワクチン接種の促進が教職員のみならず生徒たちの感染防止に大きく寄与し、学園全体の安全・安心につながると考え、関係機関の協力をいただいて、個人の意思を尊重しつつ64歳以下の本学園教職員の接種に積極的に取り組んだ。その結果、6月23日現在で、全学園職員(常勤職員・非常勤職員)のうち第1回接種完了者は約77%、7月上旬までの予定者を合わせると90%を

本学園の新型コロナウイルス感染症対策の取組について

超えた。さらに、高校生対象のワクチン接種については、接種に伴う欠席は 公認欠席、副反応により登校が困難な場合も公認欠席(原則1日)とすることとして、健康面に配慮しつつ積極的接種を促している。

(2) ハイブリッド型オープンキャンパスの実施

昨年度オンラインのみで行った今年度のオープンキャンパスは、感染対策を行ったうえで定員を決めて直接来校して見学・体験する方法とオンラインで参加をする方法のハイブリッド型オープンキャンパスを開催することにした。







オンライン育英祭 【2020 年(昨年)開催】

(3) 係留処置や PCR 検査の徹底

各種大会参加後の生徒や引率教職員の2週間の係留処置、長期連休明けなどにおける教職員のPCR検査の実施を徹底して行い、新型コロナウイルス感染防止に努めている。

今後も感染状況や国・県の方針を踏まえ、適切な対応を積極的に進めていく。

令和3年度

宮城県高等学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1~3位まで

仙台育英学園高等学校

《優勝》

優勝 2 大会ぶり 25 度目 硬式野球 軟式野球 優勝 11 大会ぶり 10 度目 ラグビー 優勝 2 大会ぶり 29 度目 男子サッカー 優勝 2 大会ぶり 28 度目 男子テニス 優勝 22 大会ぶり 4 度目 女子テニス 優勝 25 大会ぶり 2 度目 男子陸上競技 総合優勝 3 大会ぶり 11 度目 優勝 4 大会ぶり 17 度目 男子柔道 男子剣道 優勝 2大会ぶり8度目 男子空手 総合優勝 初優勝

男子空手組手 優勝 初優勝

なぎなた 優勝 2 大会ぶり 21 度目

《準優勝》

男子ライフル射撃 女子ライフル射撃 女子陸上競技

《3 位》

女子サッカー 男子卓球